

議会だより

2016

平成28年2月1日発行

No.18



地域を守る —自衛消防—

Contents

まち・ひと・しごと創生総合戦略を採択

- ② 議案採決結果
- ③ 12月補正予算
- ④ 12月定例会
- ⑧ 委員会報告

- ⑫ 議会報告会
- ⑯ 委員会研修報告
- ⑯ 13人が町の考え方を問う 一般質問
- ㉔ 議会からこんにちは 琴南公民館『琴南陶芸クラブ』

議案採決結果を公表します

全ての議案等に対して、各議員の議決の結果は下記の通りです。

議案名等	議員名	議席番号	15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	関連ページ 員
			賛成	反対	議決結果	関洋三	竹林昌秀	川西米希子	田岡秀俊	合田正夫	三好郁雄	白川正樹	白川年男	白川皆男	大西樹	藤田昌大	松下一美	三好勝利	大西豊
平成27年第4回定例会 (会期:平成27年12月7日~18日)																			
議案第1号	まんのう町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4	
議案第2号	まんのう町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4	
議案第3号	まんのう町税条例の一部改正について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4	
議案第4号	まんのう町子どもたちのための教育・保育給付に係る利用者負担等に関する条例の制定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4	
議案第5号	まんのう町早期支援教育センター設置条例の制定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5	
議案第6号	まんのう町立学校条例の一部改正について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5	
議案第7号	まんのう町学校給食費徴収条例の一部改正について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5	
議案第8号	まんのう町学校給食調理場条例の一部改正について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5	
議案第9号	まんのう町保育所条例の一部改正について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6	
議案第10号	まんのう町認定子ども園条例の一部改正について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6	
議案第11号	まんのう町立幼稚園保育料徴収条例の廃止について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6	
議案第12号	新町建設計画の一部変更について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P4	
議案第13号	まんのう町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6	
議案第14号	平成27年度まんのう町一般会計補正予算(案)(第3号)	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6	
議案第15号	平成27年度まんのう町国民健康保険特別会計補正予算(案)(第2号)	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7	
議案第16号	平成27年度まんのう町介護保険特別会計補正予算(案)(第1号)	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7	
議案第17号	平成27年度まんのう町簡易水道特別会計補正予算(案)(第1号)	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7	
議案第18号	平成27年度まんのう町農業集落排水特別会計補正予算(案)(第1号)	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7	
議案第19号	平成27年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(案)(第1号)	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7	
発議第1号	ハイオスピーチ対策に関する意見書(案)	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7	
発議第2号	森林・林業政策の推進を求める意見書(案)	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7	

※可一可決 否一否決 認一認定 不一不認定 推一推薦 繼一継続審査 同一同意 ○賛成 ×一反対 承一承認 許一許可
※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。(議長 議席番号15番)

次回の定例会は
3月に開催予定です。

町議会は、どなたでも傍聴できます。
会議日程は、ホームページ、告知放送でお知らせしています。

詳しくは議会事務局へ **0877-73-0109**



まんのう町 HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>



議会の傍聴席(後方)

平成27年12月定例会

開催期間 12月7日～18日（12日間）

一般会計

約1億5千万円を

増額補正

- ・若者住宅取得補助事業は、当初の予算より（若者）住宅建設が増えたため予算を増額した。
- ・地方創生先行型事業は、中讃広域で連携して、文化観光資源のPRに取り組むための予算を計上した。



建築中の住宅

平成27年度12月補正後の予算総額

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	1億5千万円	128億6百万円
特別会計	6千4百万円	56億5千3百万円

平成27年度 12月一般会計補正予算の主な内容

事業名	目的別名	補正予算額
若者住宅取得補助事業費	総務費	1,750万円
地方創生先行型事業費	総務費	2,700万円
少子化対策事業費	民生費	600万円
こども園管理運営費	児童福祉費	1,370万円
治山事業費（設計・施工）	林業費	700万円
商品券発行費	商工費	1,500万円

平成27年度 12月特別会計補正予算の主な内容

事業名	目的別名	補正予算額
国民健康保険特別会計	繰入金	△950万円
介護保険特別会計	償還金（国へ返納）	7,330万円

12月定例会

即決案件

議案第2号

特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部改正について

地域おこし協力隊と集落支援員
の報酬額を増額した。

原案可決

議案第12号

新町建設計画の一部変更につ
いて

合併特例債の適用を合併後10年
間から15年間に延長するため、財
政計画の期間を平成32年度までに
変更した。

原案可決

付託案件

・議案第4号から議案第11号までは
教育民生常任委員会に付託（8議
案）

- ・議案第13号は政策充実特別委員会
に付託
- ・議案第14号から議案第19号は予算
決算特別委員会に付託（6議案）

総務常任委員会付託

執行部に必要書類の提出と詳細
な説明を求め慎重に審査を行った。

議案第1号

個人番号の利用及び特定個人
情報の提供に関する条例の制
定について

個人番号を独自に利用する事務
等の規定を定めた。

●主な質疑と答弁

【委員】個人番号の利用と特定個人情
報の提供に関する事を条例として定
める目的や利点は何か。

【執行部】条例に個人情報を提供で
きる「医療費の助成事務」等の事務
名を明記することで各所管課間で個
人情報のやりとりが可能となり申請
者の負担を軽減することができる。

また、個人情報の利用も明文化して
おくことで行政事務の効率化を図る
ことができる。

主な改正内容は「徴収猶予に関
する改正」「適正な条文に合わせた
めの改正」「たばこ税に関する改正」
の3つである。

議案第3号

税条例の一部改正について

場合は延滞利率が下がるため、納稅
者にとつては有利に働くことにな
る。

※他にも活発な意見・質疑が出され、
慎重に審議を行った結果、原案を可
とすることで意見の一致をみた。

原案可決

教育民生常任委員会付託

執行部の案件に対する詳細な説
明を求め審査を行った。

議案第4号

子どものための教育・保育給付
に係る利用者負担等に関する条
例の制定について

町立保育所・幼稚園の認定こと
も園移行に伴い、保育料等に関す
る条例を新たに制定した。

●主な質疑と答弁

【委員】各地区の保護者説明会におい
て、保育料の第2子以降の減免につ
いての説明は行っているのか。

【執行部】保育料についてもくわし
く説明している。

担保設定をして、徴収を猶予する
法で猶予金額を50万円としており、
県内の大多数の自治体もその額に準
じたことから、本町も同額とした。

担保設定をして、徴収を猶予する



早期支援教育センター「たむ(多夢)」

【委員】 満濃南の場合、幼稚園に園長を、保育所に副園長を配置する。幼保

【執行部】 満濃南の場合、幼稚園の運営はどうなるのか。

幼稚園から認定こども園への移行に伴い現条例から長炭、満濃南、四条、高篠幼稚園の語句を削除した。

● 主な質疑と答弁

【委員】 具体的に各保育所・

幼稚園の運営はどうなるのか。

【執行部】 満濃南の場合、現幼稚園に園長を配置する。幼保

町立学校条例の一部改正について

議案第6号



早期支援教育センター設置条例の設定について

議案第5号

【委員】 近隣の市町と比べて本町の保育料はどうなつか。

【執行部】 子育てを支援するため県内の他の市町より低額料金で設定している。



気になる子に対する相談や支援のための活動拠点を「早期支援教育センター」として、旧仲南北幼稚園跡に設置した。

● 主な質疑と答弁

【委員】 児童・生徒の引きこもり、不登校などの対応は行うのか。

【執行部】 現在は、スクールソーシャルワーカーが対応しているが、気になる子には、連携して対応することになる。



議案第6号

町立学校条例の一部改正について



築35年が経過した満濃南保育所

学校給食費徴収条例の一部改正について

議案第7号

【委員】 幼稚園から、認定こども園への移行に伴い、現条例から幼稚園の語句を削除した。



学校給食費調理場条例の一部改正について

議案第8号



【委員】 幼稚園から、認定こども園への移行に伴い、現条例から幼稚園の語句を削除した。

● 主な質疑と答弁

【委員】 こども園になると給食費はどうなるのか。

【執行部】 こども園になると給食費はどうなるのか。

【執行部】 給食費は変わらない。ただ消費税が8%になった時には据え置いたが、10%時には検討しなければと考えている。



の検討が必要と考えている。

四条、高篠についても、今後施設の検討は必要と考えている。

議案第9号

保育所条例の一部改正について

こども園への移行に伴い、町立保育所に該当する部分を削除し、入所手続きや保育料徴収について改正した。

●主な質疑と答弁

【委員】私立保育所である「いろは保育園」はどうなるのか。

【執行部】「いろは保育園」は保育所として認可を受けているので、今まで通り、0才～5才の保育を行うことになる。

【執行部】幼保連携認定こども園の所管庁は、文部科学省と厚生労働省となるが、制度運営上は、県の子育て支援課で窓口が一本化されているので支障はないと考えている。

原案可決

議案第10号

認定こども園条例の一部改正について

今後5年間の目標や基本的方向、具体的な取り組みをまとめ、策定した。

原案可決

議案第11号

町立幼稚園保育料徴収条例の廃止について

町立保育所・幼稚園の認定こども園への移行に伴い、幼稚園を廃止することから、関係する条例を廃止した。

原案可決

議案第13号

政策充実特別委員会付託

若者住宅補助事業

●主な質疑と答弁

【委員】今回の補正額で今年度の補助は貽えるのか。

【執行部】今回の補正で今年度分は対応できると考えている。

※各議案について、他にも質疑・意見等が出され慎重に審議を行った結果、原案を可とすることで意見の一致をみた。

原案可決

議案第14号

平成27年度一般会計補正予算（案）（第3号）

- ・若者住宅取得補助事業費の増額補正
- ・文化観光資源PR事業費の新規補正
- ・放課後児童対策事業の新規補正
- ・子ども未来夢基金の増額補正等

1億5011万2千円を追加し、128億636万5千円とした。

原案可決

※詳しくは委員会報告をご覧ください。

和できないのか。
【執行部】要件を満たせば転用は可能だが、その要件は厳しい。

文化観光資源PR事業費

●主な質疑と答弁

【委員】町内の観光地やうどん店、大川山、雨乞いや佐文の綾子踊りなどの情報登録はどうか。

【執行部】各所管課と連携して考えていきたい。



建築中の若者住宅（イメージ）

まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

【委員】住宅用地確保のためには、農地転用等の土地開発にかかる許可条件を緩

教育民生常任委員会

●高篠小学校 ●町診療所 ●資源ゴミ ●特定健診 ●国民健康保険 ●放課後児童クラブ ●地域文化振興



改修箇所を指摘する委員(高篠小学校)

り1ヶ所に統合したいと考えて
いる。統合にむけては、移動手
段の確保が必要と考えている。

他の自治体よりは低料金である。
消費税が10%になることを踏ま
え平成29年度にもう一度、見直
すことになる。

要因によるものである。胃カメラ
検査も今年度まで無料であつ
たが、一部自己負担としても、
建築場所の検討をしており、
本年12月以降に設計に入る予定
である。

ネットスタンド (資源ゴミ収集補助器具)

経費節約・負担軽減を

【三好勝利委員】 ネットスタンド

は、町で一括して購入し、各自
治会に配ることはできないのか。

申請には、見積り書等も必要
であり、面倒であるとの声も住
民から出ている。

【住民生活課長】 各自治会によつ
て必要数も求めるタイプも違う。

【白川正樹委員】 平成30年度から
広域化されることだが本町
の場合、どのような影響がある
と考えているのか。

【福祉保険課長】 現在、本町の保
険料は県下でも平均並である。

行政サービスと住民負担のバ
ランスを考えいく必要がある。
全て町負担は難しい。

広域化でどう変わる 国民健康保険

【白川年男委員】 地域には、それ
ぞれに受け継がれてきた祭りな
どが文化がある。しかし年々担
い手が減少するなど残念な傾向
にある。町が補助金を出すなど
の支援はできないのか。

【総務課長】 町が補助金を出すの
は、今の時代に馴染まないと考
えている。

受診率の低下を まねかぬように

特定健診

安心・安全な施設を まねかぬように

放課後児童クラブ

地域医療の充実を

町診療所

【三好勝利委員】 内科・歯科とも

造田地区・美合地区の2ヶ所に
診療所があるが、1ヶ所に統合
する件はどうなっているのか。

【琴南支所長】 平成28年度は2ヶ
所で診療を行い、平成29年度よ

田岡秀俊委員

人間ドックの胃
カメラでの受診が平成28年度か
ら自己負担金が2千円増額の1
万2千円になるとのことだが、
その理由と他の自治体の動向は。

【健康増進課長】 増額の理由は、
医療機関が、平成28年度から胃

カメラの検査料金を上げる等の
満濃南小学校の放課後児童クラ
ブ施設の建設予定はどうなつて
いるのか。

【学校教育課長】 四条小学校は、
平成28年度校舎棟等の大規模改
修を予定しているため、その後

になる。

満濃南小学校は、学校敷地内



受け継がれる地域の誇り

地域の祭り 継承の後おしを

で建築場所の検討をしており、
本年12月以降に設計に入る予定
である。

【白川年男委員】 地域には、それ
ぞれに受け継がれてきた祭りな
どが文化がある。しかし年々担
い手が減少するなど残念な傾向
にある。町が補助金を出すなど
の支援はできないのか。

【総務課長】 町が補助金を出すの
は、今の時代に馴染まないと考
えている。

建設経済常任委員会

●プレミアム商品券

●有害鳥獣

●東京国際フォーラム

●かりん亭

●自己水源

●水道広域化

委員会では前山地区・太陽光発電事業施設建設現場・琴南総合センターでサル用捕獲檻・長尾地区県営中山間総合整備事業現場等の視察をおこなった。

プレミアム商品券

町おこしにつなげよう

【合田正夫委員】

商品券の販売予定はあるのか。

プレミアム商品券の利用店舗の追加は、住民向けに周知を行っているのか。

【産業経済課長】 次のプレミアム商品券の販売予定は未定である。

利用店舗の追加については、商工会や町のホームページや広報誌に掲載しているが告知放送は行っていない。

農業委員会でも対策検討を

有害鳥獣

【合田正夫委員】 農地被害や対策を農業委員会で議題としたことはないのか。

【産業経済課長】 議題として取り上げたことはない。



サルの捕獲檻

東京国際フォーラム 全国にわが町をPR

かりん亭 経営戦略を

【白川皆男委員】 町の特産品を何にするのか。町にある豊かな自然や住環境を都市圏にPRしていく必要がある。

【川原茂行委員】 東京国際フォーラムの「町イチ、村イチ出店」に、何を出店したのか。

【産業経済課長】 積極的に町の情報を内外に発信していきたい。東京国際フォーラムには、生食用のイチジクとカリンの化粧水を出品した。

【関洋三委員】 地域おこし協力隊による活動や広く解決策を募集し、かりん亭経営の改善を図つてはどうか。

【産業経済課長】 かりん亭のロケーションの良さを生かした経営戦略が必要だと考えている。

自己水源 清化能力の維持

【川原茂行委員】 全体的に有収率の改善はできているとの報告だが、地蔵前ダムの水質浄化能力の低下についてはどうするのか。

【水道課長】 次年度に浚渫と浄化設備の改良をおこなう予定である。

と、浄水場の撤去費用はどこが負担するのか。町の負担はないのか。

【水道課長】 企業団に加入後なら、撤去費用の町負担はない。

【川原茂行委員】 自己水源で賄える本町が加入するのには、町民が納得できる条件が要るのではないか。

水道広域化 徹底した議論を

【竹林昌秀委員】 平成29年9月議会の場で広域水道企業団への参加の有無の最終判断をしてもらおうことになるとの説明があつたが、広域水道企業団に加入する

自己水源で運営していくこと。水道料金高騰は避けるなどの条件の了承は県より得た。工事の契約、発注方法、水道料金の徴収方法などは、これからである。



新しい継手の視察(水道管)

総務常任委員会

●若者住宅取得補助金事業 ●国道整備 ●あいあいタクシー ●消防車 ●子ども未来夢基金

若者住宅取得補助金事業は
11月時点で、新築32件、中古
住宅2件との報告があった。

【企画政策】
課長 商工
すべきでは、
行い適正な
運行を行つ
ていきた
会と協議を

【国道整備】
国道438号の対策は
【大西樹委員】
国道438号
交差点（琴南地区）において
重大事故が多発しており、現
地調査を行ない早急な対策を
講ずるべきではないか。
対応していきたい。



安全対策が急がれる国道

【消防車】
【広域で考えるべき】
【藤田昌大委員】
消防署の梯子車の様に稼働率が低く維持
費が相当かかる車輌等は今後
広域で考えていくべきではない
か。

【総務課長】
広域圏での調整
が必要である。

あいあいタクシーを利用する住民

【三好郁雄委員】
あいあいタク
シー8時便、9時便の利用は
前日予約を必要としていたが、
今は当日の受付も認める運用
であり、当初の取組みを厳守

【最初の運用を厳守すべき】

【あいあいタクシ】

【松下一美委員】
子どもたちのため
子ども未来夢基金
順調な運用を

【会計室長】
基金の利息は当
夢基金の運用はどうなつてい
るのか。

【地域木材の活用】
①森、水、農業は互いに密
接に結びつき、まちづくり
の基礎となってきた。
近年では、農業用水のパ
イプライン化を進めて、
産地間競争力の強化を
図っている。今後も人と
自然が共生するまちづく
りを推進する。

【集落営農】
②荒廃山林再生の助成、地
場木材の活用住宅の奨励、
大工等の伝統技術を継承
する機会を創出する。

③農家の高齢化が進んでい
るため、集落営農をより
推奨する。

議案第13号

審議報告

【委員】

●主な質疑と答弁

●総合戦略で打ち出した事
業の優先順位はどのよう
にかけるのか。
本定例議会で、政策充
実特別委員会に付託されたの
は「議案第13号、まんのう
町まち・ひと・しごと創生
総合戦略の策定について」
の1議案である。前回の当
委員会で要望した追加項目
と有識者会議後の修正案の
説明を受けた。

・各常任委員会で、次年度
予算に反映する重大項目
を絞り込むべきである。
・地域創生事業は、住民自ら
取り組む熱意が必要である。
・地域観光をPRする瀬戸
内圏共同事業の中に満濃
池は含まれているのか。

【執行部】

●農業用水のパイプライン化
①森、水、農業は互いに密
接に結びつき、まちづく
りの基礎となってきた。
近年では、農業用水のパ
イプライン化を進めて、
産地間競争力の強化を
図っている。今後も人と
自然が共生するまちづく
りを推進する。

・広い観点・視野に立ち事
業の優先順位をつけてい
きたい。国からの交付金
がつけば有利に事業展開
できるので、交付金の活
用も考慮していきたい。
・地域創生先行型事業は丸
龜市が中心となつて取り
組むようになつた。国の
交付金を受けることがで
きるようになつた。本町
も負担金を出し満濃池等
の町の観光PRをしたい
と考えている。

※この他にも、質疑・意見
等が出され慎重に審議を行つた結果原案を可とする
ことで意見の一致みた。

PF1問題対策特別委員会

前半を施工上の品質問題として公開審議し、後半の対外折衝は非公開とした。

施設の品質問題は収束

冒頭に、今年度末の決着を目指す確認を行い、全員の了承を得た。

39 項目の補修を承認

高知社会基盤システム研究センター理事長の意見書に照らして、420の調査対象項目中の39項目の補修を終えた。

終了まで継続して責任を担うなど、維持管理と利用者へのサービスを全うすることが報告書に記されていることを確認した。これにより、品質問題は収束した。

品質問題への質疑は種々あつたが、執行部の説明を了承した。

契約の長所はこれから

瑕疵担保責任は10年間あり、修補を求めることがで
るので、PFI契約の長所を
今後発揮させることができ
る。この確認を行った上で、施



夏休み中の補修

支払い留保の扱い

現在特別目的会社への施設のサービス購入費(維持管理と運営費)は留保している。

継続審議に

支払い留保の扱い、解決に向けての相手方との交渉は重大であり、一挙に結論を出すことで避けて、執行部の具体策の検討を求めるとともに、継続審議することで合意をした。

再発防止策は起草中

施設の品質問題の決着を得たことから、部分払いを早急に行うことを確認した。

早急な部分払いへ

冒頭、二つの原則の確認を行つた。

① 今年度中の解決を図る。

② PFI契約を継続する前提で、この後の対応を図る。

経過報告と 契約履行方針の提出

特別目的会社と主幹事会社へ、経過報告と今後の契約履行方針の提出を求めることは、全体の交渉と一体的に行う回答を得て、これを了承し

3月末の決着に

3月には決着をつけるとする
ことで合意した。

公民協働と 一枚岩の交添

町が力を合わせて、住民の福利厚生をより効率的に増進することが目的であること。

対外交渉のためには、町長と議会が一枚岩となつて対応することが、住民の利益のためには、最も重要なことであることを再確認した。



現場檢証中

いつでも来てつか

もっと身近な
議会に！



議会報告会の開催

町内6会場において、11月18日、19日に議会報告会を開催いたしました。ご参加いただいた町民の皆さんと膝を交えての意見交換ができました。その中から、いくつかご紹介いたします。

消防団

まだ頑張れるで



高篠ふれあいセンター

河川

早めにしたらどうな



仲南公民館

問 少子高齢化により、団員確保が難しくなっている。勇退した団員等の登用も考えていくべきではないのか。

答 団員確保が最も厳しい琴南地区ではすでに、公務災害補償が適用される機能的消防団員の活用を実施している。今後は全町的に取り組みを考えていく必要があると思う。

問 町内に、整備、改修の必要な河川がいくつもある。大災害がいつ発生するかわからないといわれている今、早期の対応が必要なのでないのか。結果的には、その方が費用も安くつくと思うが。

答 この点については、議員からも常々同意見が出ている。執

行部も緊急性のある河川から予算をつけ、整備をすすめている。

有害鳥獣

イノシシが
川にもあるがな

問 土器川の雑草の中にイノシシが生息している。どんどん個体数が増えたら大変な状況になるのではないか。早く対策を考えるべきだと思うが。

答 イノシシの棲みかにならないため、整備は必要であるとの認識は持っている。議会としても対策を強く要望していきたい。



琴南総合センター

満濃池

一回コースはできるなん

問 地域活性化のためには、満濃池をさらにPRする必要があるのではないか。美しい景観を見ながら散策できる道の整備が必要なのではないのか。

答 議員が一般質問において、何度もこの問題についても提言している。町長の答弁でも、満濃池を一周する散策道の整備は行いたいと明言している。しかし、いくつか



琴南農改センター

の課題の解決が必要である。できるだけ早く着手できるよう議会としても対応していく。

琴南中学校跡地

有効に使わないがんなんあ

問 琴南中学校が来春統合になるが、跡地利用については考えているのか。

答 立ち上げて、琴南地区の活性化に向けて、総合的に検討している。

議会報告会

もつと話し合つ場があつたらええなあ

問 議会報告会というより、意見交換会として、地元の意見にさうに耳を傾けてほしいと思うが。

答 することは、議員の最も重要な仕事のひとつだと認識している。議会報告会のあり方については、今後検討していきたい。

合併10周年

問 来年は、旧三町が合併して、大きな節目の年を迎えるが、町としては、どのようなイベントを考えているのか。

答 議員も、一般質問において様々な提案、要請をしている。執行部は、記念切手の発行、記念ナンバープレートの発行等も考えている。議会としても、町の活性化につながるような記念行事をおこなうよう、要請している。

問 高齢者の免許返納は地域性を考えるとなかなか難しいと思うが。

答 車に代わる足の確保が重要と認識している。自主的に免許返納しても生活できるような生活支援サービスも充実させていく必要があると思う。議会としても考えていきたい。

車に代わる移動手段が必要や

高齢者支援



吉野公民館

問 子どもの数が減り、高齢者が増している現状を肌で感じる。過疎対策は行っているのか。

答 町として若者の定住促進を目的に、子育て支援の充実や若者住宅取得補助事業等を実施している。議会も過疎対策にしっかりと取り組んでいる。

なんとかくい止めないがん

過疎対策



長炭なごみ館

今回の議会報告会におきましても、皆様の貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

平成27年度 香川県町議会議員研修

【日時】平成27年11月2日
【場所】香川県自治会館

地方創生



一同に介しての研修

りながら、各施策に積極的に取り組むことが期待されているとの話しがありました。

また、食環境ジャーナリストでもあり、食総合プロデューサーである金丸弘美さんからは、「食からの地域再生」「地域力創造と活性化」と題しての講演があり、食を通しての地域再生の具体例や、新しい取り組みを行っている自治体の事例をくわしく話していただきました。

今回の講演を通して地方創生とは地域住民の生きがい造りでもあると感じました。議会としても「人が輝く町づくり」をめざして地方創生に取り組んでまいります。

全国町村議
会議長会企画
調整部参事・
松浦貞治さん
より「地域に
経済性をもたらす個性の明確化と地域デザイ
ン」と題して、地方創生とは各自治体がそれぞれの個性、特色の明確化を図

平成27年度 教育民生常任委員会 研修報告

【日時】平成27年10月27日～29日
【場所】新潟県燕市 新潟県糸魚川市

ヘキサスロンを通じての子どもの体力、運動能力向上 結婚支援事業 いといがわ (糸魚川市)

新潟県
燕市新潟県
糸魚川市

糸魚川市では、人口減少対策として、平成19年度から、①縁結びコーディネート事業、②ハッピーアウトドア事業、平成25年度からは③結婚相談入会事業に取り組んでいます。縁結びコーディネーター事業においては、事業開始から9年が経ち、成婚数が年々減少傾向にあるため、今後どのように取り組んでいくかを検討中であるとの話しがありました。コーディネーター間の横の繋がりが確立されていない為、人脈が広がらず、男女の紹介に限界があるようです。

研修をうけ、一つの支援ではなく、多角的支援が必要であると感じました。

地域おこし協力隊員の取り組み (木島平村) 大規模災害時の議会の行動マニュアル (下諏訪町)

現在、8名が「地域おこし協力隊員」として村に移り住み、村民と協力して村の活性化に積極的に取り組んでいます。

今回の研修ではその活動を学ばせて頂きました。若い力が、新たな地域の維持や強化には必要であるとあらためて感じました。

大規模災害はいつ発生するかわからません。防災、減災の取り組みは当然ですが、大規模災害時には、議会としてどうするのかも考えていかなければいけないと思います。今回の研修をさらなる安心、安全な町づくりに生かしていきたいと思います。



大規模災害時の議会の行動を研修する委員

長野県木島平村

下諏訪町では、議会において「大規模災害時の議会の行動マニュアル」が作成されています。
(平成26年12月施行)。大規模災害発生時に議員がとるべき具体的な行動を定めることを目的としています。

長野県下諏訪町

最先端の農業生産法人 (白馬村) 獣肉の資源活用 (君津市)

白馬村の6次産業化の農業生産法人「しろうま牧場」を視察した。特別栽培米、そば、大豆、ブルーベリー、野菜、加工品開発と産直食堂を実地見聞した。若年雇用の運用に着目した。

君津市獣肉処理加工施設を実地調査した。剥皮、熟成、解体、検査、包装、燻製、保管、更衣室や運用組織と衛生管理を聴取した。調達から流通までの全容の情報はまことには得がたいものだつた。



解体、処理の説明を受ける委員

長野県白馬村

君津市獣肉処理加工施設を実地調査した。剥皮、熟成、解体、検査、包装、燻製、保管、更衣室や運用組織と衛生管理を聴取した。調達から流通までの全容の情報はまことには得がたいものだつた。



6次産業化の視察

議員名	質問内容
竹林 昌秀	・合併後10年間で、本町住民生活と地域社会はどのように変遷したのか ・TPP農業合意をどのように掌握しているのか。本町の独自対策を問う ・ひまわり栽培とひまわり牛の現状と推進策を問う
松下 一美	・TPP大筋合意による農業問題を問う ・新年度予算編成への取組を問う
田岡 秀俊	・いわゆる「ふるさと納税」の分析と戦略は ・役場組織の再編の考えは
川西米希子	・学校司書導入等について ・ロタワクチンの公費助成について
大西 樹	・公共建築物等における木材の利用について
大西 豊	・集落営農について
合田 正夫	・イノシシ対策について ・今後の農地対策について ・ひとり暮らしの高齢者の在宅支援サービスの充実について
白川 正樹	・合併10周年の記念事業について ・育樹祭について ・綾子踊りについて
三好 郁雄	・琴南地区の今後の方針についてどのように考えているのか ・全国育樹祭に、本町の知名度を上げる好機である ・土器川周辺の環境をどのように考えているのか
川原 茂行	・四国四県森林サミットについて ・水道広域化について
三好 勝利	・圃場整備をした農地の用途変更について何か良い知恵はないのか ・町内各公民館主催の文化祭について今後見直してはどうか
白川 年男	・土器川の雑木・雑竹の除去について ・婚活事業について
藤田 昌大	・10周年記念行事について ・各地域で残っている文化活動の継承

議員
↓
町長・教育長

12月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。
議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に
掲載していますので、ご覧ください。

議員が町の考え方を問う

新年の抱負

関 洋三
春は「約束の二年過ぎ申す」
「心新たに一隅照らす」

竹林 昌秀
地方創生、河川、町民経済の循環を導く積極財政に力を注ぐ。

川西米希子
初心忘れず、なお前向きになお誠実に。

田岡 秀俊
終始「誠意」。皆様との対話を大切に、元気な町づくりを!

合田 正夫
町政改革、何とかせないかん。待ったなし。

三好 郁雄
人生とは、日進月歩であり、みんなの幸に貢献できるよう頑張ります。

白川 年男
今年は、申年です。元日の日の出のように知恵を出し地方創生元年にすべく頑張ろう。

大西 樹
合併十周年を期に初心にかえり、日々精進してまいります。

藤田 昌大
少数意見を大切にして、特色ある町と組織に。

松下 一美
山積する課題の解決に向け全効力を傾注してまいりたい。

三好 勝利
既存概念に囚われない斬新な改革と地域を生かす規制緩和の実現。

大西 豊
集落営農に取り組み、機械等の共同利用による継続可能な農業をめざす。

川原 茂行
草魂、森林環境税法案設立に向けて知事・県議会を動かす挑戦。



ひまわり牛の飼料化へ

ひまわり牛

問 推進協議会の設立の決意を問う

答 適切な時期に開く

竹林 ひまわり牛推進協議会設立を何時まで先送りするのか。知事さん食べていただいて、直ちにすべきだった。

関係者が事業計画を承認すれば良いだけだ。それは、売り上げを達成できるように、生産要素の配分と役割分担さえあれば、自ずからとなる。町がその結集し、場を設けぬと動けぬ。

予算化しても何の音沙汰もない。

町長 適切な時期に協議会を開催す



竹林 昌秀 議員

TPP

問 本町の農業への対策は優れた経営感覚を持つた

答 担い手を育成したい

竹林 による不透明感を、「ひまわり」の付加価値を最大限に活用して、町おこしの起爆剤とする。

なお、この一大事業を成功させるには、人手が不可欠となる。

竹林 団地要件と助成単価を改定して、各地で長期間咲かせて、交流人口を増やせぬか。それは天候のリスク分散となる。

産業経済課長 改定の検討する。

竹林 団地要件と助成単価を改定して、各地で長期間咲かせて、交流人口を増やせぬか。それは天候のリスク分散となる。

産業経済課長 改定の検討する。

竹林 団地要件と助成単価を改定して、各地で長期間咲かせて、交流人口を増やせぬか。それは天候のリスク分散となる。

産業経済課長 改定の検討する。

来年度予算

問 むだのない編成を効率的に行いたい

松下 来年度は合併10周年を迎える。琴南中学校も3月末で閉校となり新たな飛躍をめざした新年度の予算



飛躍をめざして(琴南中学校)



松下 一美 議員

TPP

問 本町の農業への対策は優れた経営感覚を持つた

答 担い手を育成したい

松下 TPPが発効されれば豚肉は現在1kg482円の関税が10年後には50円となり、輸入米では1俵(60kg)が4500円という低価格となる。安価な農作物の流入により本町の様な小規模農家は壊滅的な打撃を受け離農とか、耕作放棄地も増えるのではないか。県ではTPP対策室を設置しているが、農業立町である本町のTPPへの対策をどのようにお考えか。

町長 経営手腕が重要であり、担い手の育成、支援に取組んでいきたい。国、県の動向を見極めながら適切に対応に努めていきたい。

町長 合併特例の終了により地方交付税が段階的に減少し、厳しい時期を迎える。今後より行財政のスリム化を図っていきたい。

町長 少子高齢化、町有施設の老朽化等により厳しい財政状況の中、町政10周年記念事業、道路等の修繕や維持管理は重点施策と考えている。本年度予算の97%以内で予算を組み効率的均衡ある予算を編成していく。

問 むだのない編成を効率的に行いたい

松下 来年度は合併10周年を迎える。琴南中学校も3月末で閉校となり新たな飛躍をめざした新年度の予算



飛躍をめざして(琴南中学校)



財源確保

問 「ふるさと納税」の分析と戦略は
答 情報発信に取り組む



田岡 秀俊 議員

問 組織再編
答 役場組織の再編の考えは
答 不断の見直しは必要と
考へている

田岡 昨今の住民要望の複雑化など



より利便性を考えた組織に

田岡 生まれ育った、或いは、応援したい自治体に寄附をする「ふるさと納税」だが、今では、実質2000円で高価な返礼品が手に入る。自治体は貴重な財源が増える、といったことで、全国で競争になっている。中には、住民税が減っている自治体もある。わがまんのう町ではどうなのか。分析と戦略を問う。

町長 本年まんのう町に寄せられた「ふるさと納税」は、11月末現在で、788,000円であるが、他には多額の寄附を集めている自治体もある。今後は、自治体間競争に勝つ戦略を練り、町の魅力のPR・特産品開発とともに、さまざまな形での情報発信にも努めていく。

田長 地方公共団体は「住民福祉の向上」が目的である。合併以後も行政組織の再編に取り組んできたが、今後もコストバランスなどもふまえ、社会の変化や住民ニーズに的確に対応できるよう不断の見直しを行なっていきたい。



子どもと本をつなぐ

学校司書

問 さらに利用しやすい学校図書館に
答 早急に司書配置を進めるべきと考えている



川西 米希子 議員

川西 各学校に、学校図書館の管理、運営、読書相談等に専門的に関わる学校司書が配置されたならば、さらに親しむ機会も増え、本を通して子どもの豊かな心と生きていく力を育てることになると思うが、登用配置についてはどう考える。

町長 町教育委員会としても、学校司書の果すべき役割や機能の重要性に鑑み、人材育成の確保や、配置後の研修制度の在り方などの課題の解決に向け鋭意取り組んでいく。

川西 「ロタウイルス」は大変に感染力の強いウイルス性胃腸炎の主な原因である。脳炎、脳症などの合併症を発症することもある。予防医療を行なうことで、子どもの健康も守り、予育て世帯への負担も軽くなり、医療費の削減にも繋がる。公費助成の実現についてはどう考える。

町長 町の将来を担う子どもたちの健康と予育て世帯の負担軽減を図るために、本町の財政状況も勘案、国の動向、近隣市町の動向も注視していく。





町産材を使用した施設

森林環境

問 公共建築物等における
木材利用について
答 町産材を取り入れたい



大西 樹 議員

大西 森林は木材を生産するだけではなく、さまざまな働きを通じて私達の生活に多くの恩恵をもたらしている。また、近年森林は育てるから使う時代へ移行してきている。まんのう町でも木材利用を促進することによって、健全な森林環境を持続し、整備育成した森林資源を循環させることが重

要である。国が整備する低層の公共建築物は原則木造化する等の目標設定がされ、平成27年7月末現在、全国市町村の85%が木材利用方針の策定が完了し、すでに多くが実行に移され公共建築物が完成している。木材を利用し森林環境を守っていくため、町の今後の政策方針をお聞きしたい。又、現在施行されている「若者の住宅取得補助事業」に町産材を使用した場合、金額上乗せなどの優遇措置も検討していただきたい。

町長 今後建築が予定されている四条及び満濃南小学校地区の放課後児童クラブの低層建物は、町産木材を積極的に取り入れた木造化を図り、教育施設、庁舎の改修工事では、内装材を町産材による木質化を進めていく予定である。

町整備公共建築物だけでなく、町産材を利用した新築住宅などに、補助金を交付する事業を検討中である。

高齢化社会の農業

問 集落営農の
経営発展にむけて
答 町としても、TPP対策、
高齢化対策としてとりくむ



大西 豊 議員



集落営農についての取り組み

大西 まんのう町の基幹産業は農業である。農業の振興が本町の重要な課題、政府は、TPP農業対策として国産農産物の強化による、食料の安定供給、需給率向上、農家の減収を保険する保険制度の検討及び、農林水産省が進めている「集落営農」は「集落」を単位として農業生産過程における一部又は全部の共同化・統一化による當農を目標し、一般的に、団地的土地利用や機械の共同利用等による農業生産のみならず、農村生活での共同活動も含め、一ないし複数集落を基盤に農業生産力の一層の向上を期待し、兼業農家や高齢農家を協力のもとに行う當農である。集落農は様々なメリットはある。

① 経営の効率化が図られ、機械の整備には国の支援がある。
② 農業、農村の維持、発展が図れる。
③ 米の所得補償交付金には集落営農

業であり集落営農について、町としても、TPP対策、あるいは高齢者対策として、積極的にとりくんでいく。

町長 まんのう町の基幹産業は、農業であり集落営農について、町としても、TPP対策、あるいは高齢者対策として、積極的にとりくんでいく。

④ 法人化より継続的な運営が可能となる。



イノシシ

問 早急に解体
処理場の設置を
答 調査・研究し、要望に
そよう努める



合田 正夫 議員



衛生管理の厳しい解体場

問 高齢者
答 在宅支援の充実を
問 在宅支援の充実を
答 包括支援センターにて
相談体制を整えてい

合田 一人ぐらしの高齢者が増えて
いる。要支援1・2の高齢者に対しても
支援をもつと充実させていくべき
ではないかと思うが、どのように考
えているのか。

町長

介護度によ合わせた支援を実施し
ている。お困りのとがあればいつでも
相談できる体制はできているのでぜひ、
どんなことでもご相談いただきたい。



予定されている会場

育樹祭

問 内容は
答 お手入れ行事、式典行事、
参加者による育樹活動などがある



白川 正樹 議員

問 綾子踊り
答 「日本遺産」に
申請してはどうか
問 綾子踊り
答 認定に向けて
調査研究を進めたい

白川 昭和51年、国の重要無形民俗
文化財の第1回の指定を受けた佐文
地区に古くから伝承されている綾子
踊りを「日本遺産」に申請してはどう
か。

教育長

登録については文化庁が地
域に点在する有形・無形の文化財を
パッケージ化し、我が国の文化・伝
統を語るストーリーを「日本遺産」
に認定する仕組みである。関係機関
と連携を図りながら、認定に向けて
調査研究等を進めたい。

合田 真剣に検討していかなければ、
本町における有害鳥獣対策そのものが
行き詰まるときがくるのではないか
のかと危惧する。本町が中心となり
中讃広域で協力体制を取り、早期設
置を進めていくべきではないのか。

町長 現在、香川県が野生鳥獣肉衛
生管理ガイドラインを策定中である。
本町としても、県の動向を見定めな
がら検討を進めていきたい。

問 農地
答 あらゆる角度から
対策を考えたい

合田 本町に置いても放棄地が増大
している。農地の転用・利用方法を
考えるべきではないか。

町長 全国、また県内の動向に目を
配り、農地の有効利用についても対
策を考えていきたい。

白川 平成29年秋に、まんのう町で
植樹祭と同じ場所の満濃池森林公園
で開催されるが、どのような内容に
なるのか。

白川 行事として 森林・林業・環境機械
展示実演会、県主催のおもてなし行
事や協賛団体による記念行事などが
予定されてくる。

町長 「森を育てる豊かな暮らし
森が育む確かな未来」を大会テーマ
に、併催行事として全国緑の少年団
活動発表大会 育林交流集会、記念

白川 行事として 森林・林業・環境機械
展示実演会、県主催のおもてなし行
事や協賛団体による記念行事などが
予定されてくる。

vol.18 まんのう町議会だより 20

琴南地区

問 人が輝く地域に
答 未来会議を設置し検討



三好 郁雄 議員

問 溫暖化防止対策の
ために開催を
答 類例の会議と調整を図り、発言する



川原 茂行 議員

三好 建築から27年を経過した内科、
23年を経過した歯科診療所の移転、琴
南中学校の統合後の跡地利用、総合セ
ンターの老朽化等、多くの未来を左右
する課題がある。これらについて、総
合的に検討を進めていくべきだと思
うが、どのように考えていくのか。

町長 内科、歯科診療所については、
同時に琴南支所1階部分に移設する
予定である。内科、歯科診療所が併設
されると、連携が密となり、効率化、
医療行為の充実が図られ医療費削減
にも繋がっていくと考える。また、役
場、郵便局、社会福祉協議会が同じ施
設内に配置されると住民の利便性も
高まる。中学校跡地利用と総合セン
ターについては、住民参加型の未来会
議を立ち上げ、まずは西谷地区、川奥
地区においてまちづくりの専門家で
ある徳島大学准教授の田口太郎先生
を中心に限界集落の生活環境等の調
査分析を進めてい
る。琴南中学校跡
地利用については、具
体の方策をまとめ
手続きや改修に着手
する予定である。



現在の琴南支所

育樹祭

問 知名度をどう上げていくのか
答 ボランティアによるイメージ
アップを考えていきたい

三好 育樹祭はまんのう町の良さを
全国に伝えるまたとない機会である。
県との協力体制も重要である。どのよ
うな形で町の振興に結びつけようと
考えているのか。

町長 地元ボランティアが輝く絶好の
機会である。全国から参加してもらつ
た皆様に町の「おもてなし」を体験し
てもらいたいと考えてもらっている。機会
をのがさず地域振興に努めたい。

土器川

問 急ぐ環境整備
答 修繕維持管理に努めている

三好 土器川の雑草木が生い茂った
中にイノシシが棲息し、夜間民家に出
没するなどの被害が出ている。人的被
害が出る前に環境整備等の対策を。
町長 河川管理者に現地の状況確認
を求め、総合的、計画的に維持管理を行
うなど住民の生活環境を守ること
を希望している。

水道広域化

問 準備委員会で
十分な検討を
答 町益を守るよ
取り組んでいきたい

川原 頂点が納得いくように、町益
のために、準備委員会でじっくり決め
てもらいたい。料金を上げ
ず、森林の多面的機能に十分な理解を
求めて、この機会に、森林環境税を政
治判断で実現できぬか。

川原 頂点



まんのう町の資源「森林」

森林サミット

川原 香川県8市9町の中で、本町
は森林面積は、13360ヘクター
で2番目、森林率は69%だ。地球の
温暖化問題に、私は力点をおいてい
る。森林の持つ多面的機能の発揮を
言うのは、まんのう町しかない。本町
から、四国四県に情報発信してサ
ミットをしてはどうか。

町長 全国屈指の森林率を有する四
国の森林資源を循環利用し、林業の
再生と森林環境の保全に繋げるため

に、林業、建設業、行政等の関係者が
連携し、森林整備や森林資源を活か
したビジネスの創出に努める。四国
は一つの合言葉により、提案に努め、
森林政策に積極的に係りてゆく。

町長 水道料金値上げになりなじよ
うの計画を変更し、かつ町の独自案に
より県水の導入なく、広域化に参加
することじで、本町は大きなメリット
を出せた。議会からの要望に従つて、
同税の実現に努める。

川原 頂点



圃場整備

問 圃場整備した農地の用途変更はできないか

答 要望書を提出したい

三好 最近の状況を見てみると、数

十年前とは農業を取り巻く環境は目まぐるしく変わっている。このまま

では、一部原野に逆戻りすると思われる。また、一部は変わつつある。

昨今TCP等により急速に影響が出でる。例えば、商業地に利用できる所は商業利用すれば地代が入り、また環境整備にもなる。地域創世、

地域再生と言われておるが、言つばかりではだめだと思う。まずは早急に国、県にアタックして、活性化するよう願いたい。

町長 早急に農業委員会等、国、県関係機関に要望書を提出し対応いたしましたが、今暫くの猶予をいただきたい。



三好 勝利 議員

土器川

問 美しい景観に

答 国・県へも働きがけをしている

白川 雑草木により土器川の景観が年々悪くなっている。「どうにかならぬか」との意見が住民からも出でる。雑木等の伐採、遊歩道、公園等で、土器川の美しい景観を再びとり戻す必要なのではないか。

に伴い、体力不足の為、作品を持ちながら展示場、展示等の手伝いがでておる。例えは、商業地に利用できる所は商業利用すれば地代が入り、きず、出品、出展ができなくて困つておられる方々が増加しておる。何とか町当局で援助ができないものか。

町長 以前から整備の要望は国・県へも伝えておる。今後さらに強く要望していきたい。



雑草木が茂る土器川



白川 年男 議員

婚活支援

問 多角的支援を

答 わりなる支援を検討

白川 わが国においては、人口が50年後には半減するといわれている。

地方創生「人口ビジョン」によると、未婚率においては30才から40才の男性で47%、女性で34%と想定されている。本町は今年度、婚活事業に50万円を計上しているが、

今後わりなる支援として「出会い系」、「税制面等経済的支援」を考えてはどうか。

町長 「出会い系」的な行事に予算的支援を考えていきたい。広報等でもしっかりとアプローチしていただきたい。

10周年記念行事

問 現状の計画は

答 実行委員会を立ち上げる

藤田 6月議会の答弁で、来年度記

念事業を行うと答弁があつたが、具体的な予定は、実施にあたつては文化事業に力点を置くこと。森のコンサート、まんのう太鼓はもとより、各サークルが行つてゐる事業についても考慮し、町民主体となるよう考へること。

町長 平成28年3月20日に10周年を

行事について冠をつけて既存の事業はもとより、実行委員会を立ち上げて町民主体の事業としたい。

問 文化行事の継承

各地の文化行事の継承は

答 調査し、必要に応じて
対応する

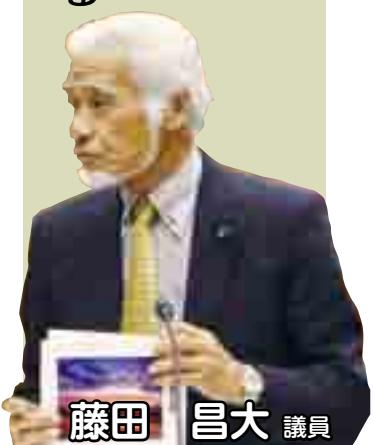
藤田 町内に綾子踊り、念佛踊り、湯立て神事等、有名な文化行事があるが、各地には神仏にまつわる行事が残っている。少子化の中で文化の

町長 ～～指摘の行事は町内の有志により継承されている。また、それぞれの地域でも独自の行事が行われており、学校でも紹介されている。少子化の中で継承が困難になつてゐるが、調査し、実情に応じて対応する。

継承が危ぶまれている。考慮する」とは。



満濃池写真集発刊記念コンサート（1997年5月）



藤田 昌大 議員

取材の足跡

町民のみなさん、取材にご協力
ありがとうございます。



はい！



堂々たる分列行進



AED講習を受ける団員



楽しいおもちつき



毎年、文化祭に干支を出品。
今年は申、

としあで、陶芸
を続ける大きな
原動力になつて
いるとのことで
した。

がつた時の嬉しさ・達成感はひ
としので、陶芸
を続ける大きな
原動力になつて
いるとのことで
した。

陶芸の魅力は何もないところから形ある物へと作りあげていく楽しさと、自分の欲しいものが自分で作れることだそうです。皆さん、コーヒーカップ、主人のビルジョッキ、孫のためのお皿、しゃもじなど、いろいろな物を作り生活を楽しんでいるそうです。また、気どころの知れた会員どうしのおしゃべりの時間も本当に楽しいと笑顔で話してくれました。

焼物の世界は「土練り三年、口クロ八年」といわれています。思い通りにできあがらない難しさがあるからこそ、作る

今回は琴南公民館の陶芸クラブにおじゃましました。



琴南陶芸クラブ

「作る楽しみ」「使う楽しさ」



世界にひとつだけの作品を手に『笑顔』

琴南公民館

毎月第1日曜日
午前10時~午後4時
(参加時間は自由)

お問い合わせ

☎0877-85-2221



委員会
委員長
川合好
西米希
委員
員長
員長
副委員
員長
議会広報特別委員会

新年にあたり、心機一転委員一同新たなる気持ちで編集に取り組みました。広報紙の読みやすさに向け一同更なる努力を行います。

今回、全議員の一年間の目標・抱負を掲載しています。

あとがき
編集委員長 白川 正樹

長炭地区連合自衛消防団の出初め式の様子です。

日頃の訓練が有事の時に発揮できます。消防団員は生業がありながら、崇高な消防精神と強い責任感により昼夜、地域住民の生命と財産を守ることを誇りとしています。



一致団結

今月の表紙
自衛消防団
出初め式



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL. (73) 0109まで